

【イベント名】
第44回 APAN 会議 胎児医療

【期日】2017.08.29

【会場】
大連国際金融会議センター（中国）、
秋田大学（日本）、
北海道大学（日本）、
南方医科大学 南方医院（中国）、
ビジョンブリッジ株式会社（日本）

【概要】
重症心疾患の胎児診断の現状を、日本、台湾、中国から報告していただいた。大きな地域格差があること、完全大血管転位や総肺静脈還流異常など技術的にスクリーニングが難しい重症心疾患の胎児診断率が低率であることが課題として明らかになった。このような課題克服のために、遠隔カンファレンスや遠隔診断に積極的に取り組んでいることが報告された。遠隔会議が知識や経験の共有、教育に極めて有効であることが報告された。

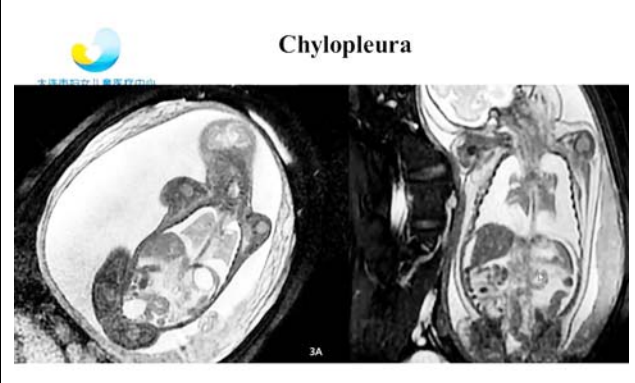


大連国際金融会議センターの会場の様子。

座長のDr. 川瀧（左）とDr. Chang（右）。

撮影場所：大連国際金融会議センター

撮影場所：大連国際金融会議センター



提示されたスライド。

提示されたMRI画像のスライド。

撮影場所：九州大学病院

撮影場所：九州大学病院



会場から発表するDr. Wang（中央）。

会場での記念撮影。

撮影場所：大連国際金融会議センター

撮影場所：大連国際金融会議センター